

森林やまがた

平成29年度やまがた緑環境税特集号



県民みんなで支える
森づくり



やまがた緑環境税を活用して整備を行った森林(鶴岡市)(上)
企業による森づくり活動(ニッサンの森【Asahi】(朝日町))(左)
平成29年10月に開催したやまがた緑県民会議の現地視察状況
(平成27年度再造林実施)(金山町)(右)

— 森林やまがた増刊号 目次 —

やまがた緑環境税を活用した森づくりに対する県民の声… 2
やまがた緑環境税を活用する事業展開について…………… 3
やまがた緑環境税活用事業の変更内容について…………… 4
各地域における森林整備の取組みについて…………… 6

県民参加の森づくり活動の推進について…………… 10
やまがた絆の森づくりの取組みについて…………… 14
やまがた緑環境税PR活動の取組みについて… 16

県民の皆様の御協力に深く感謝申し上げます

「やまがた緑環境税」は県民共有の財産である森林を守る事業に活かされています

やまがたの森林 ～共に生き、共に育まれる大切な宝物～

認定こども園さゆり幼稚園 園長 高橋 栄美子

県土面積の約7割が森林である山形県。実に美しい豊かな森や自然に恵まれたこの土地で生かされ育まれてきた私たち。先人たちが守り、残してくれたこの大切なものをどれだけ認識していただけるか。

身近な生活の中にそれを感じ、共に生かされていることを自覚しつつ、みんなで守り、育てていかなければ…と改めて考える機会を得た。それは平成19年から始められた県の「やまがた緑環境税」を活用し、県民みんなで支える森づくりを推進していく取組みを知ることによるものだった。森林は日常生活から遠くにあるものと思いがちだが、私たちの生活の中に森林は「木」を使った物として、また生活を潤す水や風光として身近に深く関わっている。

当園は創立65年になる。園舎の老朽化に伴い、改築を計画。平成10年に木を豊富に使った木造の園舎が完成した。あれから20年になるが、現在も木の香り、ぬくもりの中に生まれ生活している。当時木造の良さが見直されているとはいえ、公共の建物に木造が選択される例はまだ少なかった。市街地に立地するため、準防火地域であり、法的にクリアしなければならない問題も多かったが、木造の園舎を建てるという希望は捨てなかった。「建物は人を育てる」ということを確信すると共に、保育の中に自然を大切に取り入れるということに原点を置いていたからだ。その頃K E S工法での建築という提案を頂き、勉強会を重ね、ついに実現でき完成を皆で喜び合った。



人生の中でも最も「五感」を使って情報を得ようとする乳幼児期には、「木」という自然素材は相応しく、子どもの育ちの支援に大いに取り入れるべきであると考え、机やイスの他、子どもの周りには「木」を使ったものが室内外に数多く見られる。手に取り、感触を味わい、見立て、つくり、仲間と共有する。そのぬくもりを通して心と心も通い合う。てのひらで木製玩具が包まれる時、まさに「てのひらの中にある森」を感じている。長年かけてできた木目は天然のデザイン。同じ物は二つとない。一人ひとりの人間の存在を大切にすることと重なっていく。

先日「しあわせウッド運動」として、県内の幼稚園等に県産木材で作った「積木」が配布された。吉村県知事から直接手渡していただき、子どもたちの心の中に一層の喜びとぬくもりが伝わったに違いない。これら私たちを育てている環境に「木」は不可欠で、限りある大切な自然からのおくりものである。



共に生き、共に生かされ、成長していく。その大切なものを乳幼児期から生活の中に取り入れ、伝えていきたい。自然豊かなふるさと山形を愛し、人を愛する子どもがやがて「やまがた愛の人」として成長していけるように、これからも「やまがた森林ノミクス推進」、「やまがた木育推進」などをはじめ、県の取組みに大いに期待して、県民みんなで後の世代にもつなげていきたいものである。県民みんなの素晴らしい共有財産として。



やまがた緑環境税を活用する事業展開について【平成29年度】2月補正後予算

H29 やまがた緑環境税活用事業 845,340千円 (うち やまがた緑環境税 694,348千円)

I 環境保全を重視した森林施策の展開【森林環境緊急保全対策事業費】676,570千円(うち やまがた緑環境税 525,578千円)

① 環境保全を重視した森林整備の推進(633,683千円 うち 緑環境税 482,691千円)

◇荒廃森林緊急整備事業 事業量 1,088ha(林業振興課:633,683千円 うち 緑環境税 482,691千円)

■人工林整備 事業量 595ha(林業振興課:343,032千円(うち 緑環境税 192,040千円))

手入れが不十分で荒廃のおそれのある人工林の整備

やまがた緑環境税による整備 290ha
国庫補助事業を活用した整備(森林環境保全直接支援事業) 305ha

○針葉樹林維持型

人工林を適正に維持、管理するための間伐や森林作業道の設置等を行う



～多様な樹齢からなる森林が面的に整備され、公益的機能が持続的に発揮される森林へ～



○針広混交林型

広葉樹との混交の促進を図る強度間伐を行う



～自然生態系が豊かで公益的機能が高度に発揮される森林へ～



■里山林整備 事業量 493ha 290,651千円(うち 緑環境税 290,651千円)

病虫害被害で活力が低下した里山林の再生。被害木の伐採や捕植等を行う



～多様な樹種や年齢で構成する緑豊かな明るい里山林へ～



② 森林資源の循環利用の促進(42,887千円)

◇森林資源再生事業

事業量 47ha(林業振興課:8,925千円)

森林の有する公益的機能の維持増進及び持続的な発揮のために、再造林に要する経費の一部を支援する。



◇森林資源循環利用促進事業

事業量 48,705m³(林業振興課:33,200千円)

間伐等をラミナ(集成材)、合板等用材やチップ、ペレット等の木質バイオマス燃料等として利用するための搬出等を支援し、環境保全に配慮した木材の利用促進を図る。

◇広葉樹林健全化促進事業

事業量 762m³(林業振興課:762千円)

ナラ枯れ被害木を含むナラ林を伐採し、チップ等への活用に伴って、害虫の駆除とナラ林の若返りを図るため、搬出及び作業道の設置を支援する。

II みどり豊かな森林環境づくりの推進(147,846千円)

① 県民参加の森づくりの推進(133,786千円)

【みどり豊かな森林環境づくり推進事業】(みどり自然課:119,802千円)

地域住民や市町村が行う計画的かつ広がりのある活動や地域と連携して行う森づくり活動等への支援

- 1 豊かな森づくり活動 (地域住民との協働による里山林の保全活動)
- 2 自然環境保全活動 (希少野生生物の生息地の保全活動)
- 3 森や自然とのふれあい活動 (子ども達や地域住民に対する森林・自然環境学習)
- 4 木に親しむ環境づくり (木材の地産地消の取組み)

【やまがた絆の森づくり推進事業】(みどり自然課:846千円)

企業と地域が連携した森林の保全・活用と里山の活性化に向けた取組みの支援

- 1 企業・森林所有者・県による「やまがた絆の森協定」に基づく森づくり活動の推進
- 2 整備森林のCO₂森林吸収量認証による森づくり活動の見える化

【森づくりサポート体制推進事業】(みどり自然課:13,138千円)

地域住民や市町村、企業による森づくり活動を総合的に支援

② 自然環境保全対策の推進(14,060千円)

【生物多様性戦略推進事業(一部)】

(みどり自然課:3,782千円)

自然環境の変化等についての総合的なモニタリング調査

【鳥獣管理推進事業(一部)】

(みどり自然課:8,628千円)

里山など森林に生息する大型野生動物の実態調査

【野生鳥獣捕獲体制強化支援事業(一部)】

(みどり自然課:221千円)

人と野生鳥獣の共生の担い手育成

【大型野生鳥獣等野生復帰事業(一部)】

(みどり自然課:1,429千円)

傷病等で救護された野生鳥獣の復帰支援

III 豊かなみどりを守り育む意識の醸成(20,924千円)

① 森林・自然環境学習の推進(2,056千円)

【森林・自然環境学習推進事業】(みどり自然課:2,056千円)

- 1 森林環境学習に関する副教材や森のたんけん手帳の作成・提供
- 2 人と、木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心をもつづくりを目的とした「木育」の推進

② みどりを育む意識の醸成(17,919千円)

【みどりの循環県民活動推進事業】(みどり自然課:15,213千円)

- 1 やまがた森の感謝祭等の開催
- 2 森を守り、育て、暮らして活かす「緑の循環システム」への理解を深める各種体験イベントの開催(森のホームステイ、間伐体験、木工教室等の開催)
- 3 やまがた緑環境税の普及啓発

PR/パネル展の開催や広報誌「もりあ」の発行、各種情報発信サービスの活用等による普及啓発

【総合支庁実施事業】(総合支庁:1,833千円)

- ◇村山総合支庁 ・むらやま版・木のある生活推進事業(森林整備課)
- ◇最上総合支庁 ・BEST! 森づくりリーダー育成事業(森林整備課)
- ◇置賜総合支庁 ・置賜みんな一緒に森林活動ネットワーク事業(地域保健福祉課)
- ◇おきたま源流の森づくり活動推進事業(森林整備課)
- ◇庄内総合支庁 ・出羽庄内公益の森づくり事業(森林整備課)

【やまがた緑環境税広報事業】(税政課:873千円)

やまがた緑環境税の周知、広報

③ やまがた緑県民会議(949千円)

【やまがた緑県民会議事業】

(みどり自然課:949千円)

やまがた緑環境税活用事業の評価・検証等



やまがた緑環境税活用事業の変更内容について

(林業振興課)

荒廃森林緊急整備事業

平成29年度から、事業の内容をこれまでの「針広混交林整備」と「長期育成林整備」を「人工林整備」として統合し、その中で人工林を適正に維持、管理するための間伐や森林作業道の設置等を行う「針葉樹林維持型」と広葉樹との混交の促進を図るために強度間伐を行う「針広混交林型」に区分しています。「里山林整備」はこれまでどおり病虫害等被害で活力が低下した里山林の再生、被害木の伐採や補植等を行います。

また、「人工林整備」については、事業の対象となる林齢をこれまでの50年生から60年生までに拡大し事業を実施します。

【平成28年度まで】

人工林の再生を起点とした環境に配慮した森林経営の展開
長期育成林整備
 間伐や森林作業道の設置を行い、森林組合が森林所有者に代わって一元管理し、森林の公益的機能を維持する仕組みを構築

水源かん養など公益的機能の高い森林の育成
針広混交林整備
 人工林に広葉樹を導入するための強度の間伐及びこれに必要な森林作業道の設置など

病虫害で活力が低下した里山林の再生
里山林整備
 病虫害被害木の伐採、広葉樹の植栽、簡易土留め柵の設置など



【平成29年度から】

人工林整備
 手入れが不十分で荒廃のおそれのある人工林の整備

針葉樹林維持型
 森林の公益的機能を維持するための間伐や森林作業道の設置等を行う

針広混交林型
 広葉樹との混交の促進を図るための強度間伐等を行う

里山林整備
 病虫害被害で活力が低下した里山林を再生させるための森林整備を行う

森林資源再生事業

これまでは森林の有する公益的機能の維持増進及び持続的な発揮のために、再造林に要する経費の一部を支援してきましたが、これまで対象外だった国庫補助事業が活用できない小規模な再造林に対しても苗木購入経費を支援できることになりました。

0.05haの再造林をスギ苗木で実施した場合の補助金算定例

苗木種別	(植栽密度)	単価	植栽本数	経費(補助金額)
スギ 大苗	(3,000本/ha)	155円	150本	23,250円
スギ コンテナ苗	(2,400本/ha)	210円	120本	25,200円



やまがた緑環境税活用事業の変更内容について

(みどり自然課)

県民参加の森づくり活動等を支援

地域住民や市町村等の多様な主体が行う計画的かつ広がりのある活動や、地域と連携して行う森づくり活動等を支援する事業として従来の「みどり環境公募事業」と「みどり環境交付金事業」を統合し、「みどり豊かな森林環境づくり推進事業」として新たにスタートしました。

平成29年度は、93団体が採択され、多様な主体による地域と連携した森づくり活動が展開されてきました。

今後とも、各団体の豊かな発想で計画された事業により、県民参加の森づくり活動の拡大が期待されます。



森林・自然環境学習等の推進

平成27年度から平成28年度に行われた「やまがた緑環境税の評価・検証」により、幅広い年齢層に対応した森林・自然環境学習などの取組みや、森や自然の大切さを学び、森や木の文化を見つめなおす「木育」を推進していくこととしました。

平成29年度はやまがた木育推進委員会を開催し、各委員から意見をいただきながら、やまがた木育推進方針の策定を進めました。



サポート体制の充実

県では、県民による自主的な森づくり活動を有意義、かつ安全に進めていただくため、活動のアドバイスや現地での技術指導、各種研修会の開催など、活動全般をサポートしています。

平成29年度は、森づくり活動に関する知識と技術を持つ指導者を派遣し、活動団体の多様なニーズと安全な活動に対応できるよう、支援体制を強化しました。

普及啓発の推進

「やまがた緑環境税」の趣旨や税収の用途等制度全体の仕組みを周知するため、様々な広報媒体を活用した普及啓発を行っています。

平成29年度は新たにやまがた緑環境税の新聞掲載による普及啓発を展開しました。

各地域における森林整備の取組み

村山地域における森林整備について（村山総合支庁）

1. 尾花沢市の共存林の整備状況

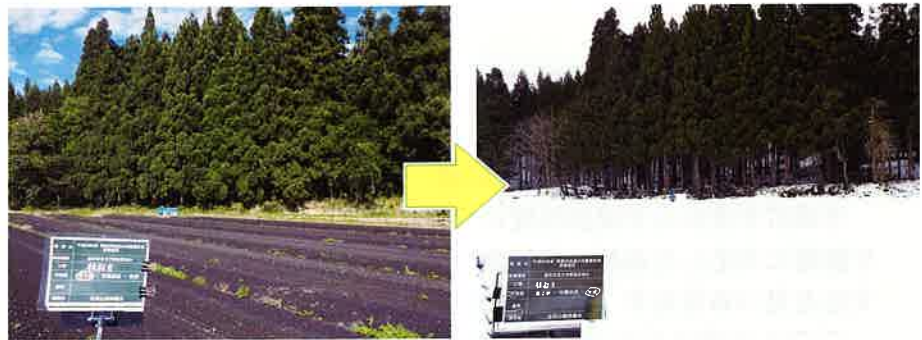
三方を山に囲まれている尾花沢市は、野生鳥獣（クマ・サル等）による農作物被害に悩まされています。このため、市では「やまがた緑環境税」を活用して、人と動物との共存を図る森林緩衝帯（バッファゾーン）の整備を推進しています。平成25年度から整備を進め、その総面積は、約47haにのびます。

平成25から平成28年度の4年間は、市内の4地区において、主に学校や観光地付近の里山にモデル区域を作り、里山保全や人と動物との共存の重要性の普及啓発に取り組んできました。

この成果を踏まえ、平成29年度からは応募のあった地区の中から市が独自の選定基準（整備後の地区による維持管理等）を設け整備箇所の選定を行っています。

●整備箇所

地区名	実施場所
福原地区	寺内、野黒沢
宮沢地区	丹生
玉野地区	下柳渡戸
常盤地区	延沢



平成29年度に実施した野黒沢の整備状況

2. 事業実施後の共存林の維持管理状況

事業実施後は、自治会との同意書に基づき、みどり豊かな森林環境づくり推進事業等を活用して、地域の森林組合や学校のPTA等の協力のもと、継続的な維持管理活動を行っています。また、維持管理の実施団体及び地元の区長を交え意見交換会を毎年行い、平成29年度の農作物の被害情報の共有化を図るとともに維持管理状況の報告を受け、効果検証や平成30年度の対策等について協議しています。整備を行った地区では、野生鳥獣による被害の軽減や目撃情報の減少など、効果が出ているとの意見が寄せられ喜ばれており、今後も管理を積極的に行い、緩衝帯を維持していきたいと話しています。

また、モデル地区を市内各地に整備したことで、事業効果についての情報が広がり、市民からの問い合わせも増え、里山保全に関心を持つ方も増えています。市では、今後も森林所有者の協力を得ながら人と動物との共存林の整備を進めていきたいと考えています。



地元での維持管理状況



意見交換会状況

各地域における森林整備の取組み

最上地域における森林整備について（最上総合支庁）

1. これまでの森林整備について

最上地域では、長年放置された森林や植栽後に人の手が入っていない荒廃のおそれのある森林を、やまがた緑環境税を活用して平成19年度から平成29年度までに間伐等の森林整備を2,181ha行いました。今後も荒廃のおそれのある森林を健全な森林に導くための間伐や森林の管理に必要な森林作業道の整備を進めることで森林の公益的機能の維持増進が図られるよう取り組んでいきます。



間伐後1年後の森林の状況

2. 平成29年度の森林整備について

平成29年度は、荒廃のおそれのある森林のうち、針葉樹林として公益的機能を持続的に発揮するために、間伐124.7haと森林作業道4,398mの整備を行いました。

また、里山林整備により観光地等に繋がっている道路の周辺10.1ha、人と動物との共存林整備としてクマが出没している地域の里山林3.7haをそれぞれ刈払い、不良木の伐採や枝落とし等により森林の整備を行いました。



荒廃森林緊急整備事業の実施状況



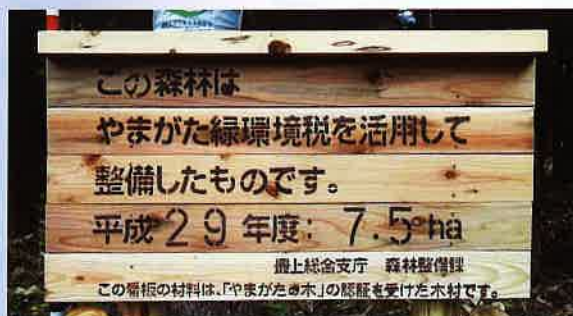
森林作業道の整備状況



里山林整備の実施状況

3. 「やまがた緑環境税」広報の取組み

やまがた緑環境税で整備した箇所にはその取組みを広く知ってもらうため、やまがた緑環境税が活用されていることを記した「PR看板」を設置しています。また、森林景観整備では多くの人の目につきやすい箇所で事業を行っていることから、PR効果の高い看板を設置しております。



森林整備箇所に設置したPR看板



里山林整備で設置したPR看板

各地域における森林整備の取組み

置賜地域における森林整備について（置賜総合支庁）

1. これまでの森林整備の状況

置賜地域では、荒廃のおそれのある森林の整備についてやまがた緑環境税を活用し、平成19年度から平成28年度の10か年で2,938haを実施しました。

平成29年度以降も引き続き、荒廃のおそれのある森林の計画的な整備を進めています。

2. 平成29年度の森林整備の状況

荒廃のおそれのある人工林や病虫害などにより活力が低下している里山林のうち、約138haの森林整備を行いました。

森林の公益的機能の維持増進と持続的発揮を目的とし、再造林に要する経費の一部を支援する取組みについては、約6haのスギ等の植栽に支援を行いました。また、森林組合等が主体となる国庫補助事業を活用した搬出間伐及び森林作業道の開設についても支援を行いました。

今後も地域座談会等をとおして、多くの森林所有者の方々にやまがた緑環境税の認知度向上と本税を活用した森林整備事業のPRに努め、着実な整備を図っていきます。



【針葉樹林維持型】

（小国町）

手入れが不十分で木が混み合い、生育不良となっていたため、スギ林として公益的機能の発揮が不十分で維持を目的として、スギが健全に生育できる空間を確保するための間伐を行いました。



【里山林整備】

（長井市）

病虫害被害を受けて枯損した木が多く立っていたため、倒木等による二次被害の防止と健全な里山林の再生を目的として、枯損木の伐採を行いました。



【森林資源再生事業(再造林)】

（白鷹町）

スギの伐採跡地において、造林が行われず放置されることで、森林の有する公益的機能が低下するおそれがあります。そのため、公益的機能の低下をくい止めることを目的として、スギの植栽による再造林を行いました。

各地域における森林整備の取り組み

庄内地域における森林整備について（庄内総合支庁）

1. 平成29年度の森林整備の状況

庄内地域では、荒廃のおそれのあるスギ人工林や病虫害被害を受け、活力が低下している庄内海岸のクロマツ林において森林整備を実施しています。県が行う委託事業は、里山林再生を目的としたクロマツの枯損木伐倒を約270ha、事業者及び市町が主体となる事業に、人工造林約20ha、搬出間伐約240ha、森林作業道約28,000 m、森林景観整備約30haの支援を行いました。

長期間整備されずに活力が低下し、病虫害や気象害などで被害を受けた里山林で枯れた木の伐採等を行い、健全な里山林へ再生します。



幹線道路沿いなど著しく景観を損なっている里山林で除伐等を行い、健全な里山林へ再生します。



2. 特徴的な取り組み

やまがた緑環境税を活用する事業も平成29年度で11年目となり、平成28年度には大きな見直しも行いました。しかし、事業の認知度はまだまだ低く、さらに多くの県民の皆様はやまがた緑環境税やその取り組みについて知っていただきたいと考え、他地域に先駆けて遊佐町西浜地区に大型PR看板を設置しました。この看板をご覧ください。このことにより、やまがた緑環境税に興味を持ち、その取り組み内容への理解が深まる契機となることを期待しています。



県民参加の森づくり活動の推進

村山地域における森づくり活動の取組み (村山総合支庁)

1. 市町村が地域の課題に応じて取り組む森づくり活動 (みどり豊かな森林環境づくり推進事業 (市町村提案型))

【山形市の取組み】

山形市では、市有林で間伐した木材からごみ集積施設の組立てキットを制作し、地域住民と協働で組立て・設置し、地域材の利用の意義や森林整備の重要性の理解を深める学習会を開催する取組みを行っています。

平成29年度は、106人の参加を得て、組立て・設置を行い、市内各地区に15基設置しました。ごみ集積施設1基当たりの容積は約22世帯60人分となっていることから、地域材利活用のPRに大きな効果が得られています。

山形市では、今後も住民によるごみ集積施設の組立てや日常生活での利用を通して、多くの人から地域の木材を身近に感じてもらい、また、地域の木材を使うことは、地域の森林を健全に維持し、森林の多面的機能の発揮に繋がることなど、木材の地産地消の意義について普及啓発を図っていくことにしています。



ごみ集積施設の組立て



学習会の様子

2. NPOや地域のボランティア団体などによる森づくり活動 (みどり豊かな森林環境づくり推進事業 (県民提案型))

【上山木材納入組合の取組み】

上山市産材を日常生活に取り入れ、木と過ごす居心地の良い暮らしを推進している上山木材納入組合では、地域材を活用したワークショップを開催しています。

今年度は、上山市産業まつりでのコースターづくりやスツールの試作・展示を通して、上山市産の木材の良さなどの普及啓発活動を行いました。おしゃれでカッ



コいいスツールは必見の価値があり、注目が集まりました。



【やまがたBOSQUE(ボスケ)の会の取組み】

山林資源の有効活用と人と人の繋がりを促進していくことを目的に設立されたやまがたBOSQUEの会 (BOSQUE=スペイン語で森の意味) では、山形市村木沢にある放置竹林の間伐と子ども達を中心にした竹を使ったうつわや箸、正月飾りの製作など、地域に眠る資源を有効活用するワークショップを開催しています。ワークショップでは毎回多くのメニューを実践しているため、大勢の参加者で賑わっています。

今後は、竹以外の山林資源も有効に活用し、子ども達に自然の大切さや森の楽しさなどについて、伝えていくことにしています。



県民参加の森づくり活動の推進

最上地域における森づくり活動の取組み（最上総合支庁）

1. 市町村が地域の課題に応じて取り組む森づくり活動 （みどり豊かな森林環境づくり推進事業（市町村提案型））

【舟形町の取組み】

舟形町では、舟形中学校の生徒を対象に木材の良さや森林の果たす役割を学ぶため、地域材を活用したベンチの製作や木製物置を設置する体験活動を行っています。

9月5日に木製ベンチづくり体験が開催され、今年度はサッカー部員25名が参加しました。始めに木の良さや地域材活用の意義から森林整備の必要性について学習した後、全員で協力してベンチづくりを行いました。また、10月16日から17日には、地域材を利用した木製物置の設置体験を舟形中学校の生徒74名で実施しました。

日頃から自分たちが使用するものを、自分たちで製作することで愛着がわき、大事に使ってもらえることでしょう。



木製ベンチ制作



木製物置設置

2. NPOや地域のボランティア団体などによる森づくり活動 （みどり豊かな森林環境づくり推進事業（県民提案型））

【森の楽器の会の取組み】

最上町の森の楽器の会では、次の世代を担う子どもの目を森へと導くことを目的に、森の木を使って楽器を作り、演奏の練習をして、発表する取組みを行っています。

平成29年度は、富沢小学校の児童を対象に、楽器のしくみや、木や森について学ぶ授業や、みんなで協力して楽器を作り、出来上がった楽器で演奏の練習を行いました。

最後は、秋の学習発表会で演奏を披露しました。

楽器の製作や演奏を通じて、木のぬくもりを感じ、自然と森林に対する愛情を深めることができたと思います。



楽器づくり(木製ハープ)



木製ハープ

【甌山探究会の取組み】

真室川町の甌山探究会は、「塩根川学校の森」を拠点に、地域住民と一体となって児童・生徒の森づくりなどの体験学習を支援している団体です。

平成29年度は、真室川北部小学校の児童及び保護者を対象に、枝打ち体験、火起こし体験、木工クラフト体験(巣箱作り)などを行いました。

児童や保護者は、枝打ちや木工クラフトの体験に真剣な表情で取り組んでいました。

活動を通じて、自然環境の大切さ、森林への関心を深めることができたと思います。



枝打ち体験



木工クラフト体験(巣箱づくり)

県民参加の森づくり活動の推進

置賜地域における森づくり活動の取組み（置賜総合支庁）

1. 市町村が地域の課題に応じて取り組む森づくり活動 （みどり豊かな森林環境づくり推進事業（市町村提案型））

【南陽市の取組み】

南陽市では、市民各層の森づくり活動を推進する“「森と友に」森づくり活性化事業”を展開しています。

今年度の代表的な活動は、赤湯小学校4学年の親子約140名が市内の企業の森において実施した下刈りと施肥の森づくり活動です。

活動に先立ち、下刈りの意義や森林の働き、安全上の注意事項などについて、親子で講義を受講し、森づくり活動の意義を学習しました。その後、十分一山の「もくロックの森」において親子で活動し、汗を流しました。

活動を通して森林・里山の大切さを学びながら、親子の絆もいっそう深めることができました。今後も、こうした住民・企業・行政が連携した森づくりの和が広がることを期待しています。



2. NPOや地域のボランティア団体などによる森づくり活動 （みどり豊かな森林環境づくり推進事業（県民提案型））

【米沢ホタル愛護会の取組み】

米沢ホタル愛護会では、ホタル生息地の調査やふれあい活動を実施しています。今年、米沢市三沢地区の小学生や区民と共にホタル観察や生息地調査、専門家を招いてホタルの生態学習を行いました。

また、調査結果をもとに、ホタルの生息地マップも作成しました。地元の小学生のアイデアも取り入れたオリジナルのホタルマップが完成しました。



【NPO法人玉庭いこいの里の取組み】

NPO法人玉庭いこいの里では、四季折々の森林の楽しさを知ること、森林の価値を見直す活動を実施しています。今年、立岩高原をフィールドに春は山菜取り、夏は植物観察、秋は小鳥の巣箱設置と植物観察を実施しました。

秋の植物観察では、専門家を招いて立岩高原の自然について学びました。参加した地元の子供も達は先生に熱心に質問をするなど、自然観察を楽しんでいました。



県民参加の森づくり活動の推進

庄内地域における森づくり活動の取組み（庄内総合支庁）

1. 市町村が地域の課題に応じて取り組む森づくり活動 （みどり豊かな森林環境づくり推進事業（市町村提案型））

【酒田市の取組み】

酒田市の海岸林は、先人が飛砂や風水害から住民の生活を守るため、長い年月と大変な苦勞をして植林したものです。市では、この歴史的資源であるクロマツ林を次世代に引き継いでいくため、市内の小学校などを対象とした森林・自然環境学習を推進し、地域住民と協働で下刈りなどの整備を行うボランティア事業を支援しています。この地域住民の協力は、地域の森林を地域で守るという意識の高まりにつながり、継続的な活動の源となっています。

近年、病虫害被害が拡大していますが、市では被害拡大防止と公益性の高い森林の保全育成を図るため、被害木の伐採・バイオマス燃料への利活用を推進しています。

また、酒田材（スギ）などの地域材の流通拡大を図るため、現地視察や住宅建築の相談会を開催するなど、林業振興・地域材の利活用を推進しています。



2. NPOや地域のボランティア団体などによる森づくり活動 （みどり豊かな森林環境づくり推進事業（県民提案型））

【大山公園再生協議会の取組み】

大山公園再生協議会では、公園からの眺望を確保するため、公園内で間伐などの森林整備を行っています。

また、間伐材はチップ化し、歩きやすく自然にもやさしいチップ敷き歩道として活用するなど環境整備を行っています。

今年度、当協議会の活動が認められ緑綬褒状を受章しました。これを励みに、地域の子ども達や他の団体と力を合わせ、より一層、景観・環境整備に努めていきます。



【NPO法人森と水の取組み】

NPO法人森と水は、森林に触れる機会の少ない県民に対して、「六十里越街道」のトレッキングを開催しています。

鶴岡市が誇るブナ林の中で行うトレッキングを通して、森の役割を学び、森林文化や歴史、森林に対する関心が高まるように実施しています。

さらに、安全の確保はもちろん、初心者や親子など、多くの方々が参加しやすいよう工夫しながら活動しています。



やまがた絆の森づくりの取組みについて

(みどり自然課)

◇ やまがた絆の森づくりについて

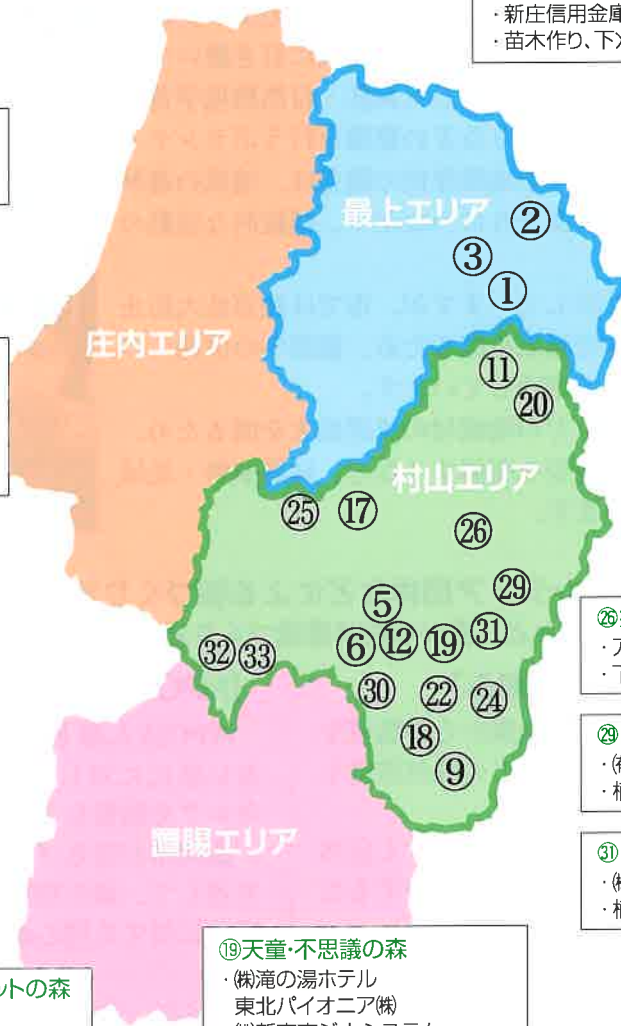
県では、森づくり活動を希望する企業と県、森林所有者による「やまがた絆の森協定」を締結し、連携した森づくり活動に取り組んできました。

現在、県内各地で38企業・団体と協定を結び33地区で森づくり活動が行われています。

凡 例

- ㊦ 絆の森の名称
- ・取り組んでいる企業・団体名
- ・平成29年度の主な活動内容

(村山・最上エリア)



- ①しんきん結の森・ぐるっと花笠の森【新庄】
- ・新庄信用金庫、(株)山形銀行
- ・苗木作り、下刈り、木工クラフト

- ②荘銀かねやま絆の森
- ・(株)荘内銀行
- ・枝打ち、木工クラフト

- ③かねやま絆の森
- ・山形ゼロックス(株)
- ・下刈り

- ①おーばん琴の森
- ・(株)おーばん
- ・森林散策、花炭づくり

- ㊦DCMホームマックの森
- ・DCMホームマック(株)
- ・植樹、下刈り

- ㊦笑顔いっぱい森 ひがしね
- ・アイジー工業(株)
- ・下刈り、きのこ植菌

- ㊦R48しあわせ街道学びの森
- ・(有)双伸工業
- ・植樹、下刈り、除伐

- ①モンテディオ山形 未来の森
- ・(株)モンテディオ山形
- ・植樹、木工体験

- ㊦企業局絆の森 月山仁田山
- ・山形県企業局
- ・下刈り、枝打ち

- ⑦にしかわ絆の森
- ・日東ベスト(株)
- ・下刈り、遊歩道整備

- ㊦ニッサンの森【Asahi】
- ㊦ニッサンの森【朝日白倉】
- ・山形日産自動車(株)
- ・日産プリンス山形販売(株)
- ・下刈り、きのこ植菌準備、間伐

- ⑫山形県トラックの森
- ・(公社)山形県トラック協会
- ・植樹、チップ敷き

- ⑥ぐるっと花笠の森【山形】
- ・(株)山形銀行、山形信用金庫
- ・下刈り、きのこ植菌

- ⑤シェルター絆の森
- ・(株)シェルター
- ・下刈り

- ㊦ハイブリット基金の山形トヨペットの森
- ・山形トヨペット(株)
- ・記念植樹・下刈り

- ㊦みはらしの丘未来の森
- ・岡崎医療(株)
- ・植樹、下刈り

- ⑩天童・不思議の森
- ・(株)滝の湯ホテル
- ・東北バイオニア(株)
- ・(株)新東京ジオ・システム
- ・(株)天童木工
- ・間伐、下刈り、プランター製作

- ㊦JA山形市“のんきな殿さま”絆の森
- ・山形市農業協同組合
- ・下刈り、きのこ収穫

- ⑨やまぎん蔵王国定公園の森
- ・(株)山形銀行
- ・間伐

- ⑩パレスグランデール絆の森
- ・(株)ジョインセレモニー
- ・樹木管理

やまがた絆の森づくりの取組みについて

(置賜・庄内エリア)

㉓ 楽天の森

- ・楽天(株)
- ・生態系調査

⑬ JTの森 鶴岡

- ・日本たばこ産業(株)
- ・下刈り、つる切り

⑯ 神の宿る森はぐろ

- ・(一財)田川建設会館
- ・下刈り、枝打ち

④ ぐるっと花笠の森【鶴岡】

- ・(株)山形銀行
- ・鶴岡信用金庫
- ・下刈り、枝打ち、除伐

⑭ ウンノハウス企業の森

- ・(株)ウンノハウス
- ・雪起こし、下刈り、枝打ち

⑮ イオンの森

- ・マックスバリュ東北(株)
- ・イオンリテール(株)東北カンパニー
- ・(株)サンデー
- ・植樹、肥料撒き、環境学習

⑦ ぐるっと花笠の森【米沢】

- ・(株)山形銀行
- ・米沢信用金庫
- ・下刈り、木工クラブ



㉑ 朝日相扶 絆の森 白鷹

- ・(株)朝日相扶製作所
- ・下刈り

⑨ 南陽「草木の森」

- ・国土防災技術(株)
- ・植樹、下刈り、安全研修

⑩ NDソフト・こもれびの郷

- ・NDソフトウェア(株)
- ・遊歩道整備、森林整備

㉒ もくロックの森

- ・(株)ニューテックシンセイ
- ・植樹、下刈り、倒木処理

㉘ ステージアンサンプル東北 「まほろばの里絆の森」

- ・(株)ステージアンサンプル東北
- ・下刈り、枝打ち、遊歩道整備



協定企業への支援

県ではやまがた公益の森づくり支援センターを窓口として、企業の森づくり活動を継続的にサポートしています。

専門講師の派遣

技術力のある指導者を派遣します。

作業道具の貸し出し

森づくり活動に必要な道具を貸し出します。

森づくり活動の見える化

森づくり活動によるCO₂森林吸収量の認証申請をサポートします。

企業間の情報交換及び交流会

やまがたの森づくり発表会を開催し、企業間の情報交換やネットワークの強化を図ります。

やまがた緑環境税のPR活動の取組みについて

(林業振興課・みどり自然課・税政課)

県では、県民の皆様へ「やまがた緑環境税」の趣旨や税収の使途など、制度全体の仕組みのほか、やまがた緑環境税活用事業実績の周知を図るとともに、森づくりの大切さについて理解を深めていただくため、各種イベントや普及啓発活動を行っています。平成29年度に実施した主な取組みを紹介します。

● 「やまがた森の感謝祭 2017」の開催

【6月3日 尾花沢市「徳良湖畔子ども広場」】

「つないでいこう 緑と水のたすき 輝く未来へ」をテーマに県内各地から1,260名の方々が参加し開催しました。

今回は、北村山地域で初めての開催となったことから、花笠踊りのアトラクションや市のシンボルキャラクターである「雪ごろう」が登場するなど、開催地の特色を活かした内容となりました。



● 森林所有者を対象とした説明会の開催

県内各地の森林組合等が開催している森林所有者向けの事業説明会で、やまがた緑環境税活用事業についても説明をしています。



● やまがた緑環境税普及啓発広報誌

森と人をつなぐ情報誌「もりしあ」の発行

【年2回、各20,000部】

やまがた緑環境税の認知度向上を図るため、事業の取組状況や森と人との関わりを親しみやすい内容で紹介しました。

より多くの県民の皆様にお読みいただくため、公共施設や金融機関、ショッピングセンターなど県内各地に配布しました。



● PRパネルの巡回展示

【34箇所 延べ687日実施】

大型ショッピングモールや各種イベントなどでパネル展を開催しました。パネルの展示にあわせて、木工クラフトなどの体験を行うなど、家族をターゲットに周知を図りました。



● 新聞・ラジオ広告やタウン情報誌による普及啓発

【新聞広告:年3回 タウン情報誌:年1回 ラジオ広報】

やまがた緑環境税の認知度50%を達成するため、新聞広告やタウン情報誌「月刊山形ZERO☆23」、ラジオスポット（県内民放ラジオ局2局）による普及啓発を展開しました。



★今後もより分かりやすく、より身近に感じてもらえるようなPR活動に取り組んでいきます★